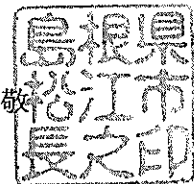


都計第 21 号
平成19年 5月 8日

国土交通省道路局長 様

松江市長 松浦 正 敬



中期的な計画の作成にあたってのご意見について (回答)

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のあった件について、別添のとおり
提出致します。

中期的な計画の作成にあたっての意見について

松 江 市

松江市は、宍道湖や中海に面し、それらの恵みを受けて発展してきた都市であり、宍道湖と大橋川に接する中心市街地は環境に配慮したまちづくりを進めている。一方、地盤が低いため幾度となく水害に見舞われ大きな被害を受けているが、水害に強い安全で安心なまちづくりと、美しい景観や伝統的な歴史・文化を備えたまちづくりを共に実現するような改修事業を計画中である。

しかしながら、少子高齢化が進む中で、人口の定住や地域の活性化を図るためには、道路整備は必要不可欠なものであり、合併により広域的な連携の強化を図るうえでも中心部と各地域を結ぶ放射道路、各地域拠点間をつなぐ環状道路及び生活道路は早急に整備を行う必要がある。

こうした中、国において真に必要な道路を計画的に進めるうえで、「中期計画」を策定されることであるが、地域の実情を十分に認識した上で計画を策定すべきである。

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

◆高規格幹線道路網について

本市における高規格幹線道路は、広域連携のネットワークの観点では今だ十分な整備がなされていない状況にある。観光交流や物流輸送の面においてアクセスの向上や地域間格差の是正のため、最優先で国の責務として整備すべきであり、県内高速道路ネットワーク(山陰

自動車道、尾道松江線など)の完成スケジュールを中期計画に明示すべきである。また、整備手法により有料・無料が混在する高速道路料金については都市と地方の物価格差また自動車保有状況など地方の実情に応じて柔軟的に運用すべきであり、高速道路の利用促進を図るためにも弾力的な料金の引き下げを行うべきである。

山陰自動車道	380km (県内延長176km うち72.9km供用)
尾道松江線	137km (県内延長51.1km うち26km供用)
松江市内整備延長	31km (松江玉造～宍道、松江道路)

◆地域特性を踏まえた道路整備について

本市は、昨年7月の豪雨災害において市街地の道路が浸水し日常生活に大きな被害が発生した。また山間部では高速道路や生活道路において土砂災害が発生するなど、これからの道路は災害に強い安心・安全な整備を行うべきである。また、本市も強力に合併を進め広域的な行政区域となったが、市の中心部と各地域間を結ぶ放射道路や環状道路について交通事故の防止を図るためにも歩道を整備していく必要があり、特に自動車保有台数(1.77台/世帯)や高齢者運転者が多い地方は都市部と違い、道路の整備が最も住民ニーズとして高いものとなっている。国県道の整備はもちろんのこと、地域特性を踏まえた道路規格での整備や歩道整備などを重点的に行っていくべきである。

【中国5県の県庁所在地都市の幹線街路の改良率、概成率】

広島市 79.3%、山口市 76.5%、鳥取市 72.1%、岡山市 69.2%、松江市 66.8%

松江市道の改良率 50.7%

◆景観に配慮した道路整備について

本市は平成17年5月に景観行政団体となり、松江市全域について景観形成上影響がある建築物等に規制を行う「松江市景観計画区域」を指定し景観に配慮したまちづくりを進めているが、道路は景観重要公共施設であるので魅力ある豊かな景観・自然と連携した道路空間の創造を行う必要がある。こうした中、既存の観光拠点やそれらを繋ぐ道路施設について、スポット的に景観や自然環境に配慮した整備が進められているが、今後は各都市の個性や特徴を生かした道路整備を行っていくべきである。

景観地区・・・塩見縄手地区

宍道湖景観形成区域内において景観に配慮した整備箇所
玉湯バイパス、宍道湖夕日スポット

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

◆道路整備の効率化について

地方の少子高齢化が進んでいる中、交通弱者への対応は手厚く対応をする必要があり、無電柱化による歩行空間の確保や通学路を対象とした歩道の整備はもちろんのこと、工事期間の短縮化や効率的な工

事発注等によりコスト縮減や沿線住民へ負担軽減など効率化を図る必要がある。

また、地方独自の道路環境に適した整備特例(無電柱化事業等)を設けるなど、活力ある地方都市を形成するうえで効率的に財源を配分し、地方の裁量により事業効果が早期に実現する取り組みを行っていくべきである。

【整備が遅れている無電柱化】

無電柱化率 (非幹線道路)

広島市 2.8%

松江市 0.4%(整備延長9.0km)

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

◆道路維持管理コストについて

地方自治体の財政状況の厳しい中、道路の維持管理に対する負担は深刻な状況であり、道路の安全を確保するため維持管理への財政的な支援を行うべきである。

【松江市における耐震補強の橋梁】

松江市の橋梁数 1,063橋 (うち耐震補強済23橋)

今後、1,000以上の橋梁について改築や補強工事を行う必要があり
多大な維持管理コストが必要。

◆道路特定財源等の確保について

本市を含め地方の輸送は自動車交通に依存しており、1世帯あたりの自動車保有台数は大都市に比べて非常に高いことから、道路特定財源の負担も高く、地方の納税者に理解が得られるような道路整備費

の確保を行うべきである。また、遅れている地方道路整備のための交付金などの拡大により、道路整備のための財源確保の強化を図るべきである。

【松江市道の整備状況】

実延長	2,065km	改良済延長	1,047km
		未改良延長	1,018km
		(改良率	50.7%)